

広報活動

平成 29 年度は、昨年度に引き続き、病院要覧をはじめ、日本語版及び英語版ホームページの充実を図った。また、アンケートをもとに紙面リニューアルを行った阪大病院ニュースによって、積極的に情報発信を行った。その他、特筆すべき事項について、以下のとおり示す。

1. 市民公開フォーラム

本院では、平成 19 年 2 月から、がん診療について近隣市民等に対して分かり易く解説することを目的として、市民公開フォーラムを開催している。

平成 29 年度開催分

テーマ・主な内容	
開催日：平成 29 年 12 月 2 日（土）	
〔免疫チェックポイント阻害剤によるがん治療〕	
(1) 開会の挨拶 化学療法部長 水木満佐央	
(2) がん免疫療法における免疫チェックポイント阻害剤 臨床腫瘍免疫学 和田 尚 特任教授	
(3) 悪性黒色腫（メラノーマ）の最近の治療革新 皮膚科 種村 篤 講師	
(4) 肺がんにおける免疫チェックポイント阻害剤治療の 現状 呼吸器内科 滝本 宜之 特任助教	
(5) 消化器がんの治療 先進癌薬物療法開発学 工藤 敏啓 助教	
(6) 副作用「くすりのりすく」 薬剤部 オンコロジーセンター室室長 村地 康 薬剤主任	

2. 広報誌の発行(阪大病院ニュース)

大学病院としての本院の存在意義を一般社会に十分に理解してもらうとともに、診療を通じて推進する研究や教育の意義、病院運営に対する財政的な役割、さらには先進医療の推進による社会的な貢献などについて広報するため、阪大病院ニュースを年 4 回発行している。

平成 29 年度発行分

号	年月日	主な記事
66	29. 4. 25	・ ICU ベッド数を大幅増床 ・ 大阪臨床研究ネットワーク OCR-net を構築

		＊患者さん満足度調査結果発表 ＊先進医学と伝統医学の融合を実施 漢方内科 ＊医薬品を通してより良き医療の提供に貢献する 薬剤部
67	29. 7. 25	・ リニアック最先端機種が稼働 ・ 「臨床研究センター」設置 ＊前立腺がん治療のためのロボット「ダ・ヴィンチ」支援下手術を実施 泌尿器科 ＊異変に気付けばすぐに受診を！超急性期の脳卒中治療をより早く安全に完遂 脳卒中センター
68	29. 10. 25	・ 大規模災害に備える！ 南海トラフ巨大地震を想定した大規模な医療活動訓練に参加 ・ 細川互 形成外科長がアメリカ形成外科学会名誉会員に ＊最適な検査で正確な診断 高度で安全な医療を支えるドクターズ・フォー・ドクター 放射線診断・IVR 科 ＊すべての臓器移植を行う国内唯一の施設 移植医療部
69	30. 1. 25	・ ガンバ大阪 遠藤選手、野田選手が小児医療センターに来訪！ ・ 小児医療センター イベント開催！ ＊最適で負担の少ない医療を患者さんに健康寿命の延伸に貢献したい 老年・高血圧内科 ＊国内でも数少ない集学的な睡眠医療を提供 睡眠医療センター

3. 病院見学会

一般の人にも本院について理解を深めてもらい、意見を聞き、よりよい開かれた病院にしようと、平成 17 年度より病院見学会を実施している。

平成 29 年度は 9 月 26 日（火）に実施。臨床検査部の検査システムや、病理部の様子など、普段見ることのできない場所を見学し、医療の現場を実感してもらった。



ドクターヘリの見学